

第15期

昭和54年5月2日～昭和58年5月1日 [昭54.4.8選挙執行] 定数68名

この期の 主な出来事

- * 東京サミット (昭54.6)、東北上越新幹線開通 (昭57.11)
- * 神戸市の人口を抜く〈全国第6番目〉(昭54.11)、中央区民センターオープンし、全区に区民センター設置完了(昭56.11)

封鎖された本会議場

3月27日、第1回定例会最終日、上下水道料金、各種使用料、手数料の改定に反対の札幌地区春闘共闘会議の組合員が議場入口を封鎖するなどの実力行使に出たため、定刻になっても開会できず、市長と議長は警官隊の出動を要請、会議が開かれたのは、大幅に遅れた午後3時19分でした。

公聴会

公聴会は、委員会に付託された予算その他の重要な事件について、審査を周到に行うために利害関係者などから意見を聴く制度です。昭和55年第1回定例会において「水道料金改定に関する公聴会」が開かれました。



第15期市議会議員 (昭和54年5月8日初議会)

豊平川にサケもどる (昭56.10撮影)

「カムバックサーモン運動」が起り、昭和54年から放流された稚魚がこの年以降帰ります。



市民ロビーコンサート (昭55.8第1回開催)
毎回立ち見が出るほどの盛りぶりです。



札幌・瀋陽友好都市調 印式 (昭55.11)

これを機に市民レベルや議会間
の交流も活発になってきました。



青少年科学館 (昭56.10)

参加体験を重視してつくられ、
世界初の人工降雪装置や
プラネタリウムもあります。



第16期

昭和58年5月2日～昭和62年5月1日 [昭58.4.10選挙執行] 定数70名

この期の 主な出来事

- * 男女雇用機会均等法成立 (昭60.5)、国鉄分割民営化・新生JR発足 (昭62.4)
- * 京都市の人口を抜く〈全国第5番目〉(昭58.5)、第1回アジア冬季競技大会 (昭61.2)、スパイクタイヤ使用規制条例成立 (昭62.2)

市民生活向上への街づくり

行政改革大綱などによる徹底した事務事業の見直し、財政調整基金をはじめとする各種基金の活用などにより、本市は計画的な街づくりのための施策を積極的に実施しました。

中でも、冬季アジア競技大会、国際見本市、花と緑の博覧会などの各種イベントの開催、21世紀に向けた都市づくりのための、札幌芸術の森、札幌テクノパーク、夢のグリーンベルトといった施策の推進、国鉄高架事業、地下鉄東豊線など大型プロジェクトの継続と分区関連施設の整備など、より一層の市民生活向上のために努力が続けられました。



第16期市議会議員 (昭和58年5月6日初議会)

'86さっぽろ花と緑 の博覧会 (昭61.6.28～8.31)

北区の百合が原公園で
開かれ、このとき使われた
モニュメントは今も公園内
に設置されています。



芸術の森 (昭61.7)

四季折々の自然の中に野外美術館やアトリエ、アートホールな
どが点在しています。



消防局新庁舎 (昭62.2)

南4条西10丁目に建てられ、
中央消防署を併設してい
ます。



里塚斎場 (昭59.7)

自然光を採り入れ、バリアフリーにも配慮した施設です。

